

第5学年 道徳学習指導案

日時 平成17年10月28日(金) 1校時

対象 2組(男16名 女22名 計38名)

指導者 神尾 大介

1 主題名 苦しみに負けない心〔希望、勇気、不撓不屈1-(2)〕

2 資料名 上を向いて歩こう 出典：学研「みんなのどうとく」5年

3 主題設定の理由

(1) 価値について

第5学年および第6学年の指導内容1-(2)は、「より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。」となっている。この内容は、よりよく生きようとするために自己目標に向かって努力し、自分を高めていこうとする意欲を育てようとするものである。

変化の激しい現代において、また物質的に豊かになった社会の中で、子どもたちは将来に不安を感じたり、無目的に過ごしたりしていることも少なくない。そのような社会情勢の中では、夢やより高い目標をもち、くじけずに希望と勇気をもって取り組むことが大切である。希望や勇気、不撓不屈とは、その夢に向かう過程で重要なものであり、あきらめず努力することを身に付ける原動力となるものである。

高学年の児童は、自分の関心や目標に対しては、やり遂げたいという気持ちをもち、物事を最後までやり通すことの大切さについて理解している。しかし、すぐあきらめて物事を途中で投げ出したり、理由をつけ楽な方に流されてしまうこともよくある。そこで、より積極的な自己を形成するため、計画的に日常生活における努力目標を立て、くじけずに希望と勇気をもって取り組み、その理想に向かって着実に前進していこうとする強靱な意志と実行力とを育てる必要があると考える。

(2) 児童について

本学級の児童は、高学年になり、学校のリーダー的な存在として委員会の仕事をしたり、運動会や遊びの集会などの諸行事に臨んだり、大きな責任を自覚して活動する姿が見られるようになってきている。

しかし、活動に際しての目標を立てることはできるが、それに向けての日々の努力の姿勢には個人差があることは否めない。さらに、友達と比較して自分を過小評価したり、失敗することを恐れて消極的になったりする傾向がみられる。また、友達と違う行動を避けようとする子もいる。

そこで、自分の目標を見失わず、くじけずに希望と勇気をもって取り組むことは大切であるということを考えさせたい。

(3) 資料について

本資料は、坂本九が事故で亡くなるまでの生き方を、歌をおりまぜながら資料化したものである。

坂本九は歌手になる夢をあきらめず、16歳でデビューし、たくさんの名曲を残す。また、福祉活動にも力を注ぎ、障害ある人たちと精力的にふれあう。しかし、飛行機事故で若くして帰らぬ人となる。彼のだれからも愛される人間性や、音楽と福祉に対する心は、多くの人に希望と勇気を与えて、今でも『上を向いて歩こう』は世界中で愛唱されている。坂本九の生きた歩みから、自分自身の生きる道について考えるのに適した資料である。

(4) 指導にあたって

昨年の学習発表会で子どもたちは、坂本九の歌『見上げてごらん夜の星を』を手話を交えながら合唱している。

そこで、気づく段階では、昨年の学習発表会で『見上げてごらん夜の星を』を歌っている子どもたちの様子をビデオで見せ、どんな気持ちで合唱していたのかを想起させたい。

見つめる段階では、坂本九の生き方にふれ、彼の音楽と福祉に対する心が多くの人に希望と勇気を与えていることに気付かせたい。

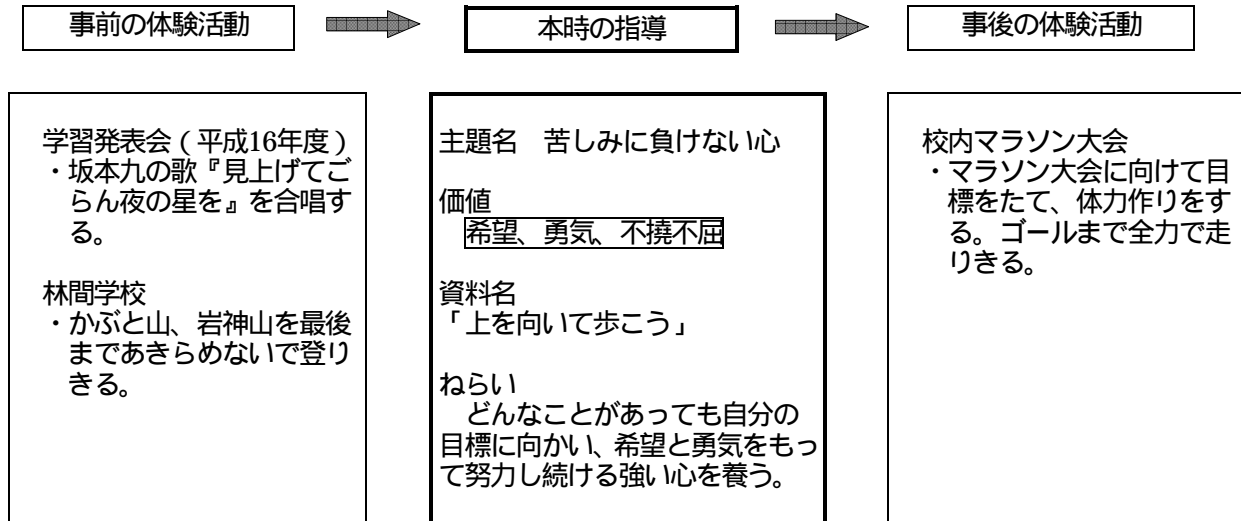
つかむ段階では、坂本九の死への悲しみ、これからも病氣と闘っていく辛さを乗り越えて生きていこうとする宮下さんの強い心にふれたい。また、坂本九の死後も、彼の歌や心は、人々の心の中に生き続け、励ましのメッセージを伝えてくれることに、温かみを感じられるようにしたい。そして、坂本九の生き方に対する思いを書く活動を取り入れることで、どの子も自分なりの考えをもつことができるようにしたい。

広げる段階では、これまでの自分をふり返ることで、本時の価値について更に深めたい。

まとめる段階では、本時の学習を思い起こし、坂本九の歌に込めた思いに共感しながら『見上げてごらん夜の星を』を歌い、余韻をもって終わりたい。

事後の活動として、日常生活を送る上で、自分の目標を設定し、振り返る機会を設けることで、子どもたちの道徳的意識を高めることができると考えた。

4 本時指導の位置付け



5 本時の指導

(1) ねらい

どんなことがあっても自分の目標に向かい、希望と勇気をもって努力し続ける強い心を養う。

(2) 展開の大要

段階	学習活動と主な発問	予想される発言や心の動き	指導・援助の留意点
<p>気づく</p> <p>10分</p>	<p>1 学習発表会で『見上げてごらん夜の星を』を歌ったことを想起する。 どんな気持ちで練習しましたか。</p> <p>2 資料を読み、話し合いの方向をつかむ。 坂本九さんの生き方すごいのと思ったところを発表してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上手に歌おう。 ・きれいな歌声で歌うことを意識した。 ・聞いている人に感動を与えたい。 ・途中であきらめないで練習した。 <ul style="list-style-type: none"> ・歌手になるという夢をかなえたこと。 ・坂本九の歌が世界でも人気があったことがわかった。 ・九さんの曲が千三百万まい売れたから、すごい。 ・小惑星の名前に命名されたこと。 ・自分たちが歌った曲の人の生き方がすごいと思う。 	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>ビデオを提示し、どの子も学習発表会で歌っている様子を思い浮かべることができるようにする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・資料中の『見上げてごらん夜の星を』、『上を向いて歩こう』の歌の部分は音楽を流す。 ・感想を話し合わせながら場面を確認する。 ・主人公「坂本九」の気持ちと生き方について考えていくことを確認する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>九ちゃんは歌を歌うことで、どんなことをみんなに伝えたかったのでしょうか。</p> </div>		

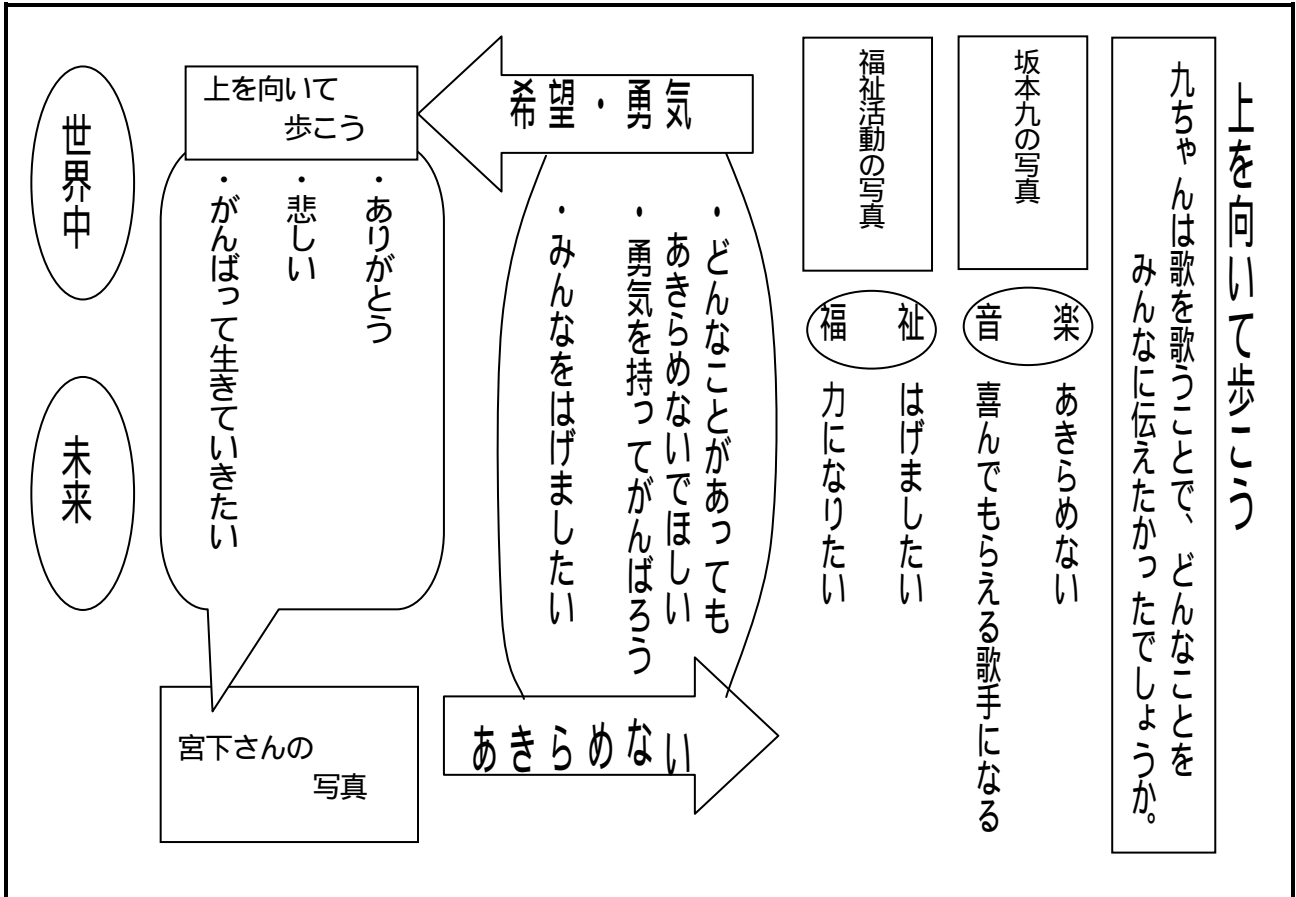
見 つ め る	3 坂本九の生き方について話し合 う。 (1) 主人公「坂本九」の気持ちにつ いて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢をあきらめないで頑張ろう。 ・プレスリーのような歌手になりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の反対を押し切っ てまで歌手になる夢 をあきらめなかった 坂本九の気持ちに共 感させる。
1 8 分	歌手になりたいと思った九ちゃ んは、どんな気持ちだったので しょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなを励ましてあげたいから。 ・少しでもみんなの力になりたいから。 ・車いすマラソンであきらめないでゴール してほしいから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・坂本九の音楽と福祉に 対する心が、多くの 人に勇気と希望を 与えていることに 気付かせる。
	10年間も福祉活動を続けたり、 応援の看板で励まし続けたのは どうしてでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすマラソンでの応援ありがとう。 ・九さんが亡くなってとても悲しい。 ・『上を向いて歩こう』という心もち続 け、頑張って生きていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・坂本九からもらった温 かさやぬくもり、笑 顔や歌にどんなに 勇気付けられたか、 宮下さんの気持ち に共感させたい。
	(2) 坂本九が残してくれたものにつ いて話し合う。 宮下さんは、どんな気持ちで九 ちゃんへの弔辞を述べたのでし ょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなことがあってもあきらめないで頑 張ってほしい。 ・たくさんの人に勇気を与えたい。 ・自分の歌で、みんなを励ましたい。 ・人の温かさを伝えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・坂本九の死への悲し み、これからも病 気と闘っていく辛 さを乗り越えて生 きていこうとする 宮下さんの強い 心にふれる。
つ か む	『上を向いて歩こう』に九ちゃん はどんな思いを込めたのでし ょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループでの話し 合い活動を取り入 れることで、坂本 九の死後も、坂本 九の歌や心は、人 々の心の中に生 き続け、励ましの メッセージや温か みに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書く活動により、全 員の意見を明確に させる。
1 0 分	(3) 坂本九の生き方に対する思いを 書き、自分の考えをまとめてい く。 今日の学習を通して、坂本九の生 き方について感じたことを書い てみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・九ちゃんの生き方はすごいと分かった。 ・多くの人に勇気を与えた人なんだ。 ・自分も人に力を与えられる人になりた い。 ・何事にもあきらめないことが大切だ。 	
広 げ る 4 分	4 これまでの自分を振り返る。 自分の目標に向かってあきらめ ないでしたことにどんなことが ありますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・区界で岩神山の頂上まで行くのがたいへ んだったが、登り きることができた。 ・遊びの集会で、3 年生とうまく縄跳 びができるように 休み時間練習した。 	

ま
と
め
る
3
分

5 『見上げてごらん夜の星を』を歌う。

今日の学習を思い起こしながら、坂本九の歌に込めた思いを感じ取って歌を歌うようにさせたい。

6 板書計画



7 資料分析

資料名 上を向いて歩こう

(出典 学研「みんなのどうとく」5年)

ねらい

どんなことがあっても自分の目標に向かい、希望と勇気をもって努力し続ける強い心を養う。

場面	16才で歌手デビューを果たし、やがて国民的スターになっていく坂本九	福祉活動に力を注ぐ坂本九	航空機の墜落で帰らぬ人になった坂本九	星になった坂本九
外的状況と登場人物の心の動き	<p>家族全員が反対する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢をあきらめず、歌手になりたい。 ・どうしても歌手になりたい。 <p>希望</p> <p>不撓不屈</p> <p>決意</p>	<p>ポリオの子どもを励ましたい。 障害のある人々のふれあい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに声援を送りたい。 ・みんなの心の支えになりたい。 ・宮下さんが北海道1周をなしとげて、とてもうれしい。 <p>思いやり</p> <p>希望 勇気</p>	<p>ジャンボ機が墜落。</p> <p>(宮下さん)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応援ありがとう。 ・『上を向いて歩こう』という気持ちを持ち続けていこう。 <p>悲しみ</p> <p>不撓不屈</p>	<p>世界中で愛唱される『上を向いて歩こう』</p> <p>希望・勇気 不撓不屈</p> <p>(坂本九の歌)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今でも世界中で愛唱されている。 ・心に温かいものをとどける。 ・励ましメッセージを伝えている。
児童の意識	<ul style="list-style-type: none"> ・有名な人なのだなぁ。 ・夢をもって歌手になったのだなぁ。 ・反対されてもがんばれるなんてすごいなぁ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉活動をしていたなんて知らなかった。 ・病気の子や障害のある人を励ますなんてえらいなぁ。 ・どうしてそんなに人のために動けるのかなぁ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飛行機事故で亡くなって、悲しいなぁ。 ・せっかく宮下さんが目標を達成したのに、残念だなぁ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・死んでいなくなっても、残った歌で思いが伝わるなんてすごい。 ・坂本九はすごい人なんだぁ。
発問	歌手になりたいと思った九ちゃんは、どんな気持ちだったのでしょうか。	10年間も福祉活動を続けたり、応援の看板で励まし続けたのはどうしてでしょうか	宮下さんは、どんな気持ちで九ちゃんへの弔辞を述べたのでしょうか。	『上を向いて歩こう』に九ちゃんはどんな思いを込めたのでしょうか。